

たのの



TANO HOSPITAL

田野病院

〒 781-6410 高知県安芸郡田野町 1414-1
TEL 0887-38-7111(代) FAX 0887-38-5568

発行人 白井 大介
(題 字 安岡 寧水)

TANO HOSPITAL ホームページ <http://www.usui-kai.com> E-Mail:info@usui-kai.com



「令和 8 年度 入社式にて」

広報誌「たのの」新年度第一号をお届けします。今年度も当院にたくさんの新入職を迎えることができました。

高知県東部の医療を支え続けるためにも、良質な医療人を育てることは当院の重要な責務です。皆が成長とやりがいを感じられるよう、病院を挙げて教育体制を整えてまいりました。入社式では「ひとりひとりが地域医療・介護の守り神になるつもりで頑張ってほしい」とエールを送りました。彼らの活躍が本当に楽しみです。

現在、物価高騰や医療・介護の人材不足など、私たちを取り巻く

理事長 白井 大介

環境は厳しさを増しています。

しかし、こうした状況だからこそ足元を見つめ直し、急性期から在宅まで「地域と人に寄り添うチーム医療」の提供に力を尽くしてまいります。

どのような状況下でも、私たちのなすべき役割は変わりません。本年度も職員一同、明るく前向きに、皆さまに親しまれ、信頼される『より良い地域医療』の実現に向けて歩みを進めてまいります。



地域医療研修

令和 7 年度

当法人にて、地域医療研修に取り組まれた研修医の先生をご紹介します。

- 01 今回の研修で学び得たことを教えてください。
- 02 医療法人白井会(田野病院)のイメージを教えてください。
- 03 今回の研修を経て、改めて、どのような医師を目指されますか？
- 04 今後の抱負をお聞かせください。



小島 光博 研修医

(昭和医科大学病院)

研修期間

令和 8 年 2 月 2 日～2 月 27 日

出身地:東京都目黒区

出身大学:埼玉医科大学

趣味:サッカー、バドミントン

- 01 患者さまの生活と医療が直結している印象を受けました。地域では医療資源が限られている分、患者さまと医療従事者が近いことで一人ひとりの患者さまとしっかり向き合う時間が取れたことがとても学びになりました。
- 02 医療従事者同士のチームワークが良いです。特にリハビリ部門は仲が良さそうだなと思いました。救急患者の受け入れ先であり、中芸地域での救急のとても大事な役割を担っていると感じました。
- 03 救急医としてまずは成長します。
- 04 私は、救急医として専門医取得を目標としていますが、研修を終えてからは、人生のどこかのタイミングで地域医療に貢献したいなという気持ちになりました。

3施設合同消防訓練を行いました

2026 年 2 月 4 日在宅ケアセンターにおいて、デイサービス・たのたの温泉・たのしい保育園(職員用保育園)の3施設合同で、消防訓練を実施しました。

今回は、デイサービスを火元と想定し、通報・初期消火・避難誘導の基本動作を確認するとともに、温泉および保育園の職員が避難誘導を支援する形で、施設間の連携を確認しました。

特に、温泉・保育園の職員は、デイサービス利用者さまの身体状態が十分に把握できていない状況を想定し、デイサービスの職員が的確に指示を出せるか、また短時間で安全に避難誘導できるかを重点的に確認しました。避難訓練終了後には、水消火器を使用した消火訓練も行い、職員一人ひとりが実際に消火器を使用することで、初期消火の重要性を再確認しました。

今後も、利用される皆さまが安心して過ごしていただけるよう、定期的な訓練と施設間の連携強化に取り組んでまいります。



経営企画部 総務課

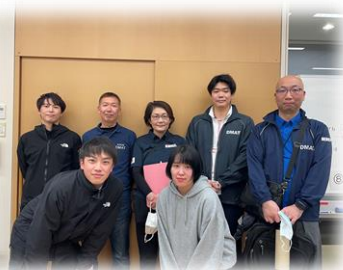
DMAT 隊員養成研修会の参加



先日、DMAT(Disaster Medical Assistance Team:災害派遣医療チーム)の隊員養成研修会が開催されました。当院からは 1 名が全国規模を中心に活動する「日本 DMAT」研修に、2 名が高知県を中心に活動する「高知 DMAT」研修にそれぞれ参加してきました。また、高知 DMAT 研修には 5 名が講師として赴きました。

— 受講者の声 —

【日本 DMAT 研修会】2026/3/4～3/6



放射線部・山本 隆信(診療放射線技師)

私は、3 月 4 日～6 日に 3 日間開催された日本 DMAT の研修を受講し、後日、高知 DMAT 研修に講師として参加してきました。数年前に高知 DMAT の研修を受講してから、地域における災害医療や福祉、保健衛生について考えるようになり、自己研鑽の良い機会として、今回の活動に至りました。災害時にこそ、地域に医療を提供できることが医療従事者の最たる役目だと思っています。

将来、来たる「その時」に向けて常日頃から努力と準備を怠らないよう精進してまいります。

【高知 DMAT 研修会】2026/3/14～3/15



薬剤部・石川 なな(薬剤師)

3/14～15 日に開催された令和 7 年度高知 DMAT 研修に参加しました。

本研修では、災害時の共通言語の理解や、EMIS(広域災害救急医療情報システム)・衛星電話等を用いた情報共有、および多職種連携による実践的な演習を通じ、発災時における医療体制の構築について深く学ぶことができました。

有事の際、多職種と連携し、迅速かつ的確な医療提供に寄与できるよう、さらなる能力向上に努めていく所存です。



経営企画部総務課・江口 晃志(事務員)

この度、高知 DMAT 研修に参加させていただきました。研修を通じて、災害医療の重要性と、その現場で求められる迅速かつ的確な対応について理解を深めることができました。

近い将来、高い確率で発生するといわれている南海トラフ地震を見据え、私自身、強い危機感と同時に「災害に強くありたい」という思いを抱いています。

私は事務職員であるため、医療行為を行うことはできません。しかし、物資の供給や関係機関との連携など、医療スタッフが本来の業務に専念できる環境を整えることが重要な役割であると感じています。

当院では、災害派遣対応をはじめ、さまざまな災害対策に積極的に取り組んでいます。私自身も、施設設備に関わる業務に携わる立場として、日頃から自施設の状況を正確に把握し、発災時に的確な対応ができるよう意識して業務に取り組んでいきます。

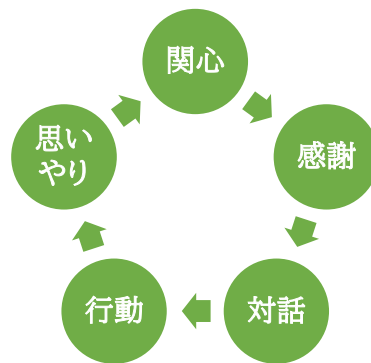


臼井会へようこそ！

2026 年度、医療法人臼井会に 16 名の新たな仲間が加わりました。現場配属に先立ち、「プロフェッショナルとしての土台づくり」と「心理的安全性の構築」を目的に、3 日間の新入職員オリエンテーションを実施しました。その様子をご紹介します。



初日は、入社式に続き、法人の概要や歴史、そして私たちが大切にしている理念について理解を深めました。とりわけ行動指針である「5 つの約束(関心・感謝・思いやり・対話・行動)」については、現代に即した形へとアップデートし、単なる接遇マナーではなく「対話を支える基盤」としての重要性を共有しました。午後には院内の部署探検を行い、先輩職員の働く姿や各部署長との対面を通じて、地域や患者さま、そして職員を大切にする法人の想いを実感する機会となりました。



2 日目は、医療安全や院内感染対策、個人情報保護など、医療従事者として必ず守るべき基本ルールについての講義を実施しました。患者さまだけでなく、自分自身や仲間を守るための重要な内容に、新入職員は真剣に向き合っていました。



最終日は、「アサーティブ・コミュニケーション」をテーマにした実践ワークを行い、互いの価値観や得意・不得意を共有しました。緊張もほぐれ、安心して意見を伝え合える関係性が育まれていく様子が印象的でした。締めくくりに「引継ぎ式」では、新入職員が自身の特性をまとめた「私の取扱説明書」を部署長へ手渡し、部署長からも同様に手渡すことで、お互いを理解し支え合うチームとしての第一歩を踏み出しました。



多くの職員の支援のもと、オリエンテーションは無事終了し、新入職員はそれぞれの配属先で新たな一歩を踏み出しました。臼井会は今後も、心理的安全性と柔軟性を兼ね備えた職場づくりを進め、一人ひとりの強みを活かしながら成長を支えてまいります。新たな仲間たちの今後の活躍に、ぜひご期待ください。

チームリノベーション室長

田野町からお米をいただきました！



このたび、田野町役場様より当院職員に向けて、お米(20kg/1人)のご寄贈をいただきました。中芸地区唯一の総合病院として、日々地域医療に尽力する職員への温かいご支援と激励のお言葉に、心より感謝申し上げます。地域の皆さまに支えられていることを改めて実感するとともに、このようなお心遣いが職員一人ひとりの大きな励みとなっております。

職員への配布は、2月25日～2月27日の3日間で、第1弾として10kg/1人分を田野町役場の職員様、JAの職員様、当院の職員で連携して行いました。配布日当日は、笑顔が溢れ、感謝の声が多くあがりました。配布に協力していただいた方々、お疲れ様でした。残りの配布は4月末に行う予定です。

今後も、地域の皆さまに安心して医療を受けていただけるよう、職員一同より一層努力してまいります。



経営企画部 総務課

たのたの 楽楽けんこう隊

- 「温泉を楽しむために」 1月28日 理学療法士 宮田 千華
- 「認知症について」 3月25日 脳神経外科医 井川 直樹
外来看護師 大野 藍

「地域医療連携室ってどんなところ？～1人で悩んでいませんか？～」
令和8年2月25日(水) 地域医療連携室 社会福祉士 曾我 遥
みなさん、地域医療連携室ってどんなところかご存じですか？

このテーマで2/25に楽楽けんこう隊で発表をさせていただきました。当日は久しぶりの雨天で心配されましたが、開始時刻が近づくにつれ、地域の方々が来院してくださりました。私自身、こうして地域の皆さんの前で発表する機会は今までなかったので、緊張もしましたが終始和やかな雰囲気、クイズの場面では皆さんが積極的に答えてくださり、温かい気持ちになりました。

地域医療連携室とは、当院内にある、「病院の相談窓口」のことです。患者さまやご家族さまの相談を受け、必要に応じて病院と地域(診療所・介護事業所・行政等)をつなぎ、安心して治療・生活ができるよう支援しています。地域医療連携室には、ソーシャルワーカーという専門職があり、患者さまやご家族さまに寄り添いながら困りごとについてお話を聞き、一緒に考えさせていただきます。

基本的には予約や紹介なしで問題ありませんが、事前にお電話を頂ければお待たせせずに対応が可能です。私たちは、地域の皆さんが「住み慣れた地域、で少しでも自分らしい暮らしを続けられるように支えられたらと思っています。

早めの相談が安心に繋がります。治療・療養に関する疑問だけでなく、退院後の生活への不安など、1人で悩まず、お気軽にお声がけください。



「転倒予防教室」
令和8年4月22日 理学療法士

「睡眠時無呼吸症候群の検査について」
令和8年5月27日 臨床検査技師

「〇〇の痛み」
令和8年6月24日 理学療法士

毎月第4水曜日
新棟1階待合室
13:00～13:30 開催



リハビリテーション部

理学療法士 藤崎遥土



私の職場の田野病院は地域医療・介護の充実発展に力を尽くし、地域住民の安心と幸福に貢献するとともに、すべての職員と家族の幸せを追求する「共生」という理念を掲げている病院です。

私は急性期病棟である西病棟に配属され、一年を通して、声掛けの大切さを実感しました。リハビリをしていく中で、患者さまの状態や気持ちに寄り添いながらかける一言が、リハビリへの意欲を高め、不安の軽減や安心感につながる場面を経験しました。同じ運動内容であっても、声掛け一つで取り組みや表情が変わり、治療の成果が左右される事に理学療法士としてのやりがいと責任を感じました。

さらに、一人ひとり価値観や目標が違う患者さまに寄り添った医療を提供する為にも、他の医療スタッフと協力し、患者さまへ日々の丁寧な声掛けをする事で細かなニーズに気づき、より良い医療が提供出来ると感じました。

この一年を通して一番難しかった事は、患者さまによって生活環境が違うことから、患者さまに合わせた訓練内容や関わり方をしていかないと良い治療効果が得られない事であり、対応力や自身の発想力が求められました。

この一年で多くの学びと課題が見つかりました。この経験を活かし、研鑽を続けて成長できるようにしていきます。



【春野菜とあさりの酒蒸し】

栄養部/管理栄養士/都築はるか



❁ポイント

あさりにはタウリンという栄養素が含まれており、疲労回復や肝機能のサポートなど様々な働きがあります。また春野菜であるキャベツやアスパラガスを入れ、彩りよく仕上げました。料理酒を使用してもよいですが、少し塩分強めの仕上がりにするため、塩分を含まない清酒などを用いるとあさりの良さが十分に出了た仕上がりになると思います。

❁材料(2人分) 1人分のエネルギー226kcal
たんぱく質 8.2g 塩分量 1.8g

- ・殻付きあさり 200g
- ・春キャベツ 50g
- ・アスパラガス 50g
- ・にんにく 1片
- ・サラダ油 大さじ 1
- ・酒 30ml

❁作り方

- ① フライパンにサラダ油とみじん切りしたにんにくを入れ弱火で炒める。香りが出だしたら、砂出したあさりを入れ強火にして軽く炒める。
- ② 春キャベツとアスパラを加える。
- ③ 酒を加え、蓋をして蒸し焼きにする(約2分)。
- ④ あさりの口が開いたら完成。

新人紹介 ①

- ① 所属・職種
- ② 出身地
- ③ 趣味・特技
- ④ 意気込み





新人紹介 ②

- ① 所属・職種
- ② 出身地
- ③ 趣味・特技
- ④ 意気込み



編集後記

私は 600 年続く赤野獅子舞をしていて「人との繋がり」が大切だと感じています。新年度はよさこいと龍馬マラソンに挑戦するので新しい繋がりが出来るのが楽しみです。私にとっては挑戦の年、皆さんはどんな 1 年にしますか？

リハビリテーション部/理学療法士

有光健晴